

決算状況

市では、市民の皆さんに財政状況を知っていただくため、毎年6月と12月に財政事情を公表しています。
 今回は、令和2年度の決算の状況についてお知らせします。
 決算とは、1年間に皆さんが納められた市税や国・府からの補助金などがどれくらい入ってきて、どのように使ったかという結果報告です。

黒字決算となりました

令和2年度の一般会計の決算額は、歳入が587億7,085万8千円、歳出が580億7,085万8千円で、歳入歳出差引である形式収支は6億4,293万3千円の黒字となり、形式収支から翌年度へ繰越すべき財源1697万円を差し引いた実質収支でも6億2,596万3千円の黒字となりました。

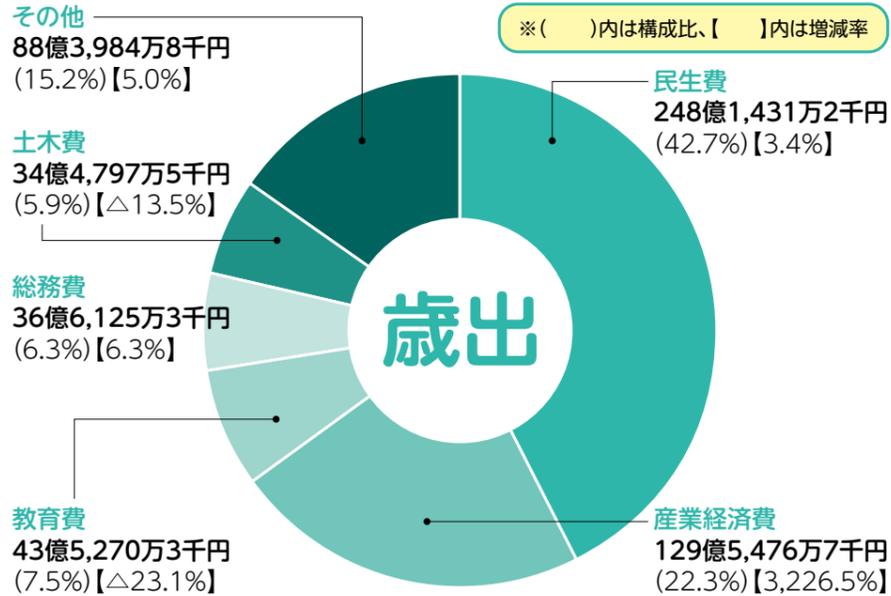
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止、地方創生臨時交付金を活用した市民生活の支援や地域経済活性化に取り組みなど、感染症対策経費の増加により、歳入、歳出ともに大幅な増加となりました。

歳出では、少子高齢化に伴う特別会計への繰出金等、社会保障関連経費の増加要因もありましたが、これまで取り組んできた企業立地促進や土地区画整理事業の効果による市税の増収や地方消費税交付金等での増収により、実質収支において黒字を堅持することができました。

▼問合せ 財政課

歳出

令和2年度決算額 **580億7,085万8千円**
 令和元年度決算額 458億9,501万5千円
 市民1人当たりに使われた額 **49万642円**



令和2年度はコロナ対策を進めました

歳出の内訳を構成比順に見ますと、福祉関連に使われる民生費が248.1億円(42.7%)となっており、およそ4割を占めています。

次に経済振興などに使われる産業経済費で129.5億円(22.3%)、学校教育などに使われる教育費で43.5億円(7.5%)となっています。

なお、産業経済費については、特別定額給付金などの実施に伴い、大幅な増加となっています。

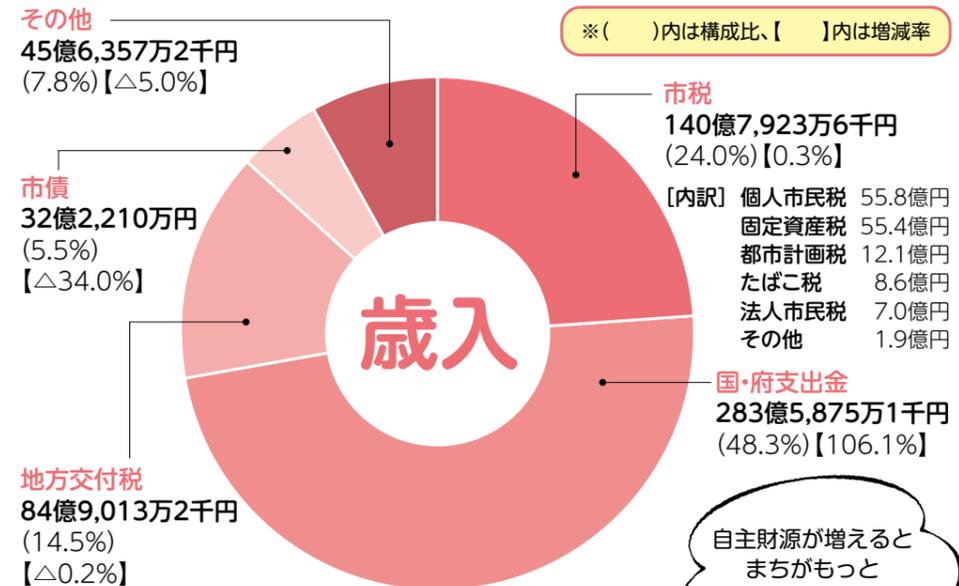
※各項目についての計数は表示単位未満を四捨五入したため、合計と一致しない場合があります。

市民1人当たりに使われた額の内訳



歳入

令和2年度決算額 **587億1,379万1千円**
 令和元年度決算額 459億9,723万9千円
 市民1人当たりの市税負担額 **11万8,956円**



自主財源が増えるとまちがもっと良くなるんです!

歳入の内訳を構成比順に見ますと、国・府支出金が約283.6億円(48.3%)、市税が約140.8億円(24.0%)、地方交付税が約84.9億円(14.5%)となっています。

令和2年度は、特別定額給付金や地方創生臨時交付金など、国庫支出金等が大幅に増加しました。市税や使用料、手数料など、松原市が自主的に得ることができる収入である自主財源は約156.5億円となっており、引き続き自主財源確保に向けて、企業立地促進による雇用環境の拡充と定住人口の獲得、新たなまちづくりへの支援などの施策に取り組んでいます。

用語解説

- 市税……市民の皆さんが納める市民税や固定資産税など
- 国・府支出金……特定の事業のために国・府が交付するお金
- 地方交付税……どの地域でも一定の行政サービスが受けられるよう国が交付するお金
- 市債……大きな事業を行うための銀行などからの借入金



松原市の決算を「家計」に例えると?

松原さんちの家計簿

令和2年度一般会計決算を10万分の1の家計に置き換えてみました。(なお、端数処理上、調整している項目があります。)

※()内は対前月増減

収入	
給料(市税)	140,790円(390円)
パート収入(使用料および手数料など)	6,690円(△1,960円)
親からの仕送り(国・府支出金、地方交付税など)	398,460円(149,970円)
資産運用収入など(財産収入)	2,910円(550円)
預金の取崩し(繰入金)	390円(△5,810円)
先月残ったお金(繰越金)	1,020円(△130円)
ローンの借入れ(市債)	32,220円(△16,620円)
その他(寄附金、諸収入など)	4,660円(780円)
合計	587,140円(127,170円)

支出	
食費(人件費)	74,230円(650円)
医療費や学費(扶助費)	159,020円(1,880円)
ローンの返済(公債費)	42,340円(△450円)
光熱水費など雑費(物件費)	58,650円(9,010円)
子どもへの仕送り(繰出金)	52,850円(1,400円)
家の改修、車の購入(投資的経費)	19,240円(△20,610円)
その他(補助費等、積立金など)	174,380円(129,880円)
合計	580,710円(121,760円)

翌月への繰越分 (収入) 587,140円 - (支出) 580,710円 = 6,430円

- 人件費……市役所で働く職員の給料や議員の報酬など
- 扶助費……高齢者や障害者、子育て世帯などの生活をサポートするためのお金
- 公債費……市が借入れたお金の返済金

- 物件費……光熱水費や文具などの購入費、事務機器のリース代など
- 繰出金……特別会計に対して一般会計が負担するお金
- 投資的経費……公共施設の整備費や、自動車など高額な備品の購入にかかるお金

令和2年度の主な取り組み

新型コロナウイルス感染症対策関連事業

市独自

防災用品購入支援

5,000円相当の防災用品を1,000円で購入できるよう支援



127,648千円

学校ICT機器等整備事業

児童生徒1人1台端末の配備など



712,200千円

特別定額給付金給付事業

1人10万円を給付

11,985,606千円

市独自

学校給食業務事業

2・3学期の小中学校給食の無償化など



477,458千円

市独自

特別出産給付金事業

4月28日以降に出生した子どもに対し、1人10万円を給付

69,858千円

市独自

臨時元希者世代支援金事業

元希者世帯に対し、エアコンの電気代の支援として1万円を給付

189,577千円

子育て世帯への臨時特別給付金支給事業

児童手当受給世帯に対し、子ども1人1万円を給付

140,884千円

新型コロナウイルス感染症対策関連事業以外

消防ポンプ自動車購入事業



43,758千円

高見ノ里駅バリアフリー化事業



131,618千円

幼保連携型認定こども園「わかばこども園」建設



690,048千円

新堂地区土地区画整理事業



322,099千円

セーフコミュニティ推進事業

1,656千円

セーフスクール推進事業

2,065千円

令和3年度 予算執行状況

令和3年4月1日から9月30日までの一般会計予算執行状況（歳入・歳出額や、市民一人当たりが負担した主な税金、市債の残高など）については、市ホームページにおいて掲載しています。下記QRコードからご覧ください。



決算状況 会計別歳入歳出決算・松原市の財政状況

令和2年度会計別歳入歳出決算

会計区分	歳入	歳出	差引	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	587億1,379万1千円	580億7,085万8千円	6億4,293万3千円	1,697万円	6億2,596万3千円
特別会計					
国民健康保険	140億9,458万4千円	157億458万9千円	△16億1,000万5千円	0	△16億1,000万5千円
介護保険	119億7,553万円	118億9,102万1千円	8,450万9千円	0	8,450万9千円
後期高齢者医療	19億3,091万4千円	19億250万4千円	2,841万円	0	2,841万円
財産区	15億6,592万3千円	6,090万7千円	15億501万6千円	0	15億501万6千円
合計	882億8,074万2千円	876億2,987万9千円	6億5,086万3千円	1,697万円	6億3,389万3千円

事業区分	収支種別	令和2年度決算額			令和3年度現計予算額	
		収入済額	支出済額	差引	前年度繰越金を含む	
水道事業	収益的収支(税抜き)	21億30万円	20億9,474万8千円	555万2千円	収入 24億2,330万6千円	支出 23億2,080万8千円
	資本的収支	3,017万5千円	8億9,372万7千円	△8億6,355万2千円	収入 3,130万円	支出 15億4,931万9千円
下水道事業	収益的収支(税抜き)	36億3,779万7千円	37億3,906万2千円	△1億126万5千円	収入 34億3,147万2千円	支出 36億5,306万2千円
	資本的収支	33億4,412万2千円	49億3,047万8千円	△15億8,635万6千円	収入 28億1,780万円	支出 42億9,190万円
土地開発公社	収益的収支	2,876万9千円	2,868万5千円	8万4千円	収入 5,355万円	支出 5,683万6千円
	資本的収支	16億5,324万4千円	16億7,650万2千円	△2,325万8千円	収入 26億7,860万2千円	支出 27億2,992万9千円



松原市の財政状況

令和2年度の決算を基に自治体の財政の健全度を示す全国共通の指標、「財政健全化判断比率」を算出しました。本市は、いずれの指標も昨年度の数値から改善するなど、健全財政を堅持しています。

